

サ活
 みんなでととのう駐輪サイクル活動

— 2025年度 都市計画演習1班 —
 中間発表

市川 千尋/川名 嗣廣/歩理香/龍澤 龍/近藤 準之助/佐々木 成己/鈴木 寿葉/安田 光汰
 TA: 渡邊 指導教員: 甲斐田 直子

1

Agenda | 本日の発表の流れ

1. サ活って何? — 背景と問題意識の整理
2. これまでの演習成果と課題
3. 調査の流れ
4. ここまでの進捗 — キャパ調査・周りへのヒアリング・浦田先生への聞き取り・定点観測—
5. 今後の予定 — 実験実施から提案へ

2

皆さん
駐輪場で、
こんな経験あり
ませんか?



3

皆さん
駐輪場で、
こんな経験あり
ませんか?



ちゃんと停めたのに倒れていた...

取り出そうとしたら通れない!

まあ、ここでいいか

4

実際の駐輪場利用者の不満は?

— 現地観察・ヒアリング調査へ

5

1. サ活って何?
学生へのヒアリング・現地観察の結果

駐輪場を利用する学生のヒアリング結果
 → 多くの学生が「迷惑駐輪に困っている」
 → 迷惑駐輪をすることに「罪悪感はない」

現地観察で見えたこと
 実際に迷惑駐輪は多発
 ラック/ラインのある場所では秩序が保たれる傾向




6

1.サ活って何？

問題は、1台の迷惑駐輪だけじゃない。

駐輪環境の改善策

→ キャバ拡充/ライン整備/ラック導入/動線改善

でも...

まあここでいいかという妥協

少しぐらい許される雰囲気
先に来た人が損をする感覚



環境だけでは解決しきれない心理的要因・“まあいいや”の連鎖

2. これまでの演習成果と課題

	目的	手法	結果
2006年 社会的ジレンマ班	心理的手法で 迷惑駐輪減少	コミュニケーション	○意識は変化 ×迷惑駐輪減少なし
2007年 交通班	・デストリアンの 混雑解消 ・歩行者リスク軽減	・境界（通路と駐輪場の） を色別のテープで明確化 ・駐輪場の大枠を明示	○道路上の迷惑駐輪が減少 ○近隣へ分散
2011年 スマートキャンパス班	キャンパス改善	調査： 場所による迷惑駐輪の偏り	調査棟、ベデストリアンに近い駐輪場： 道路上の迷惑駐輪、壁に立てかけている 迷惑駐輪が多い
2019年 スマートキャンパス班	・駐輪場混雑解消 ・動線改善	・誘導テープ、看板 （利用数少ない駐輪場へ） ・駐輪禁止区域をテープで 目立たせる ・周知（SNS、ビラ）	○利用者数分散 ◎禁止区域の駐輪数減少 ×効果なし

2. これまでの演習成果と課題

	目的	手法	結果
		コミュニケーション	○意識は変化 ×迷惑駐輪減少なし
		・境界（通路と駐輪場の） を色別のテープで明確化 ・駐輪場の枠を明示	○道路上の迷惑駐輪が減少 ○近隣へ分散
		調査： 場所による迷惑駐輪の偏り	調査棟、ベデストリアンに近い駐輪場： 道路上の迷惑駐輪、壁に立てかけている 迷惑駐輪が多い
		・誘導テープ、看板 （利用数少ない駐輪場へ） ・駐輪禁止区域をテープで 目立たせる ・周知（SNS、ビラ）	○利用者数分散 ◎禁止区域の駐輪数減少 ×効果なし



境界をテープで明確化した様子

2. これまでの演習成果と課題

	目的	手法	結果
2006年 社会的ジレンマ班	心理的手法で 迷惑駐輪減少	コミュニケーション	○意識は変化 ×迷惑駐輪減少なし
2007年 交通班	・デストリアンの 混雑解消 ・歩行者リスク軽減	・境界（通路と駐輪場の） を色別のテープで明確化 ・駐輪場の枠を明示	○道路上の迷惑駐輪が減少 ○近隣へ分散
2011年 スマートキャンパス班	キャンパス改善	調査： 場所による迷惑駐輪の偏り	調査棟、ベデストリアンに近い駐輪場： 道路上の迷惑駐輪、壁に立てかけている 迷惑駐輪が多い
2019年 スマートキャンパス班	・駐輪場混雑解消 ・動線改善	・誘導テープ、看板 （利用数少ない駐輪場へ） ・駐輪禁止区域をテープで 目立たせる ・周知（SNS、ビラ）	○利用者数分散 ◎禁止区域の駐輪数減少 ×効果なし

2. これまでの演習成果と課題

	目的	手法	結果
		コミュニケーション	○意識は変化 ×迷惑駐輪減少なし
		・境界（通路と駐輪場の） を色別のテープで明確化 ・駐輪場の枠を明示	○道路上の迷惑駐輪が減少 ○近隣へ分散
		調査： 場所による迷惑駐輪の偏り	調査棟、ベデストリアンに近い駐輪場： 道路上の迷惑駐輪、壁に立てかけている 迷惑駐輪が多い
		・誘導テープ、看板 （利用数少ない駐輪場へ） ・駐輪禁止区域をテープで 目立たせる ・周知（SNS、ビラ）	○利用者数分散 ◎禁止区域の駐輪数減少 ×効果なし



図書館・理科系修士棟間の駐輪場への誘導テープ



駐輪禁止区域の強調

2. これまでの演習成果と課題

2006年 心理的手法のみ：解決できない×

2007年 境界線の強調
→ 道路上駐輪減少に効果的○

2011年 目的地に近い場所に迷惑駐輪多い

2019年 行動を具体的に提示
→ 誘導テープ：分散に効果的○
駐輪禁止区域目立たせる
→ 禁止区域の駐輪減少に効果○

機造的方策：道路上の迷惑駐輪には有効
現在：道路上迷惑駐輪は減少、動線改善○
しかし...
割り込み駐輪など迷惑駐輪
出し入れの不便や枠はみ出し駐輪
→ 駐輪場内の環境は改善されていない×

↓

・ 駐輪場内
・ 個人の自転車を停める行動 に着目

3. 調査の流れ

- ヒアリング
- 駐輪場調査・観測
- 実験の実施
- 分析・考察
- 提案

13

3. 調査の流れ 各調査と得られること

- STEP1 2,3学全駐輪場調査**
CAPACITY SURVEY
駐輪場容量・混雑状況の把握
- STEP2 ヒアリング調査**
INTERVIEW SURVEY
駐輪場問題・方法論の理解
- STEP3 駐輪場の定点観測**
OBSERVATION
時間帯別の駐輪台数・迷惑駐輪の把握

14

3. 調査の流れ 今後の調査

STEP4 実験の実施

- 個別白線
- ポスター掲示
- 写真or案
- 写真or案

分析・考察

提案

それぞれの手法による効果検証

15

4. ここまでの進捗

- 駐輪場全数調査 (10/27)
- 浦田先生へのヒアリング (10/31)
- 駐輪場定点観測 (11/5~)

16

4. ここまでの進捗 駐輪場全数調査

目的：駐輪場の混雑状況の把握、方策の実施が可能かどうかの計測

調査手法

- ・ 10/27(月) 14:00~16:00に実施
- ・ 3学エリアの全駐輪場を対象にした
- ・ 駐輪場に止まっている自転車の数、駐輪場の場所、特徴、駐輪可能台数(枠だけ書かれている場合は1台あたりの幅を50cmと仮定して算出) について調査した

17

4. ここまでの進捗 駐輪場全数調査

番号	# 台数	# 幅 [cm]	収容台数	白線ありなし	枠ありなし	標線ありなし	写真
2	15	2010	54,722,727.3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	55	3460	62,909,090.91	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	6	580	10,545,454.55	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	58	2940	53,454,545.45	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
6	27	2170	39,454,545.45	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

合計収容可能台数	2054,727,273
実際台数	1320

結果：3学エリア全体で見ると収容台数には余裕がある
しかし場所によっては収容台数を超過しているところもある

18

4.ここまでの進捗
浦田先生へのヒアリング

第3エリアスマートキャンパスプロジェクト

- ・・・自転車通行・駐輪ルール変更による影響、通行者の誘導方法等

駐輪場調査 浦田研4年 上杉朋花さん

- ・・・調査方法、迷惑駐輪の影響等



19

4.ここまでの進捗
浦田先生へのヒアリング

- ・一台一台の白線は効果があるかもしれない
- ・迷惑駐輪は一台、もう一台、と連鎖する
- ・ポスター提示も効果的ではないか

→スマートキャンパスプロジェクト実施後、元駐輪禁止エリアとその周辺の駐輪場を対象に定点観測を行う



20

4.ここまでの進捗
駐輪場定点観測

スマートキャンパスプロジェクト後の駐輪状況の変化、迷惑駐輪の台数を計測

調査手法

- ・11/5～計測開始、中間発表後も継続予定
- ・1日に6回 授業の開始前後に計測
- ・3学エリアの元駐輪禁止エリア付近を対象
- ・駐輪場に止まっている自転車の全数、迷惑駐輪の台数を計測

21

4.ここまでの進捗
駐輪場定点観測



③～⑪、⑭、臨時エリアを対象

- 1限開始前
- 1限開始後
- 2限開始後
- 3限開始後
- 5限開始後
- 6限終了後

スマートキャンパスプロジェクト：駐輪場調査報告(2025年春) より

22

4.ここまでの進捗
駐輪場定点観測 - 迷惑駐輪の類型

① 斜め駐輪

② 枠はみ出し

③ 枠



23

4.ここまでの進捗
駐輪場定点観測 - 迷惑駐輪の類型

④ 取り出し阻止

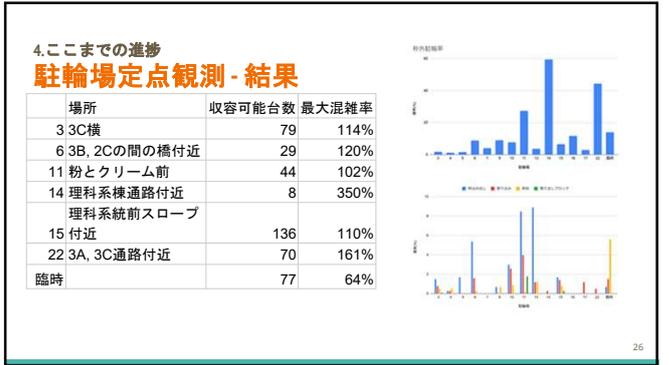
⑤ 割り込み



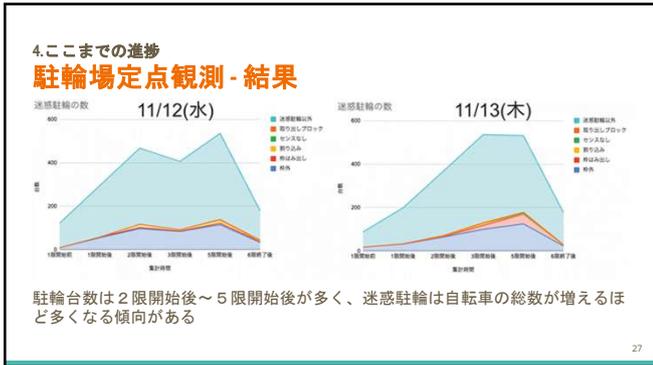
24



25



26



27

5.最終提案に向けて

介入実験
大学構内の駐輪場において自転車1台ごとの区画を示す白線の設置とポスターの掲示

手法

- 白線条件：自転車一台ごと(幅50cm)の区画線を設置
- ポスター条件：割り込み等に関するマナー啓発ポスターを掲示

28



29

5.最終提案に向けて

実験期間スケジュール

期間	日程	内容、場所
介入開始	11/17(月)	以下の介入方策設置
実験期間1	11/18(火)-11/25(火)	A:白線 B:ポスター C:白線+ポスター
入れ替え	11/26(水)-推薦入試休み中	介入方策をA,Bで入れ替え
実験期間2	12/1(月)-12/15(月)	A:ポスター B:白線 C:白線+ポスター
撤去	12/16(火)	介入方策を完全撤去し、原状回復

30

5. 最終提案に向けて

実験の効果測定

(1)客観的指標

自転車の総台数と迷惑駐輪の台数のデータを取得

(2)主観的指標

駐輪場利用者に対してアンケート調査

・利便性と整然性の評価:

・介入の有効性評価

・総合満足度

・問題の転移の有無



分析と提案

31

31

参考文献

[1]2006年社会的ジレンマ班 筑波大学内における迷惑駐輪問題

https://www.sk.tsukuba.ac.jp/~toshiw3/WWW/jisshu/jisshu1/report/2006/g4_dilemma/toppage.html

[2]2007年交通班 イチガクとボクと時々数取器

https://www.sk.tsukuba.ac.jp/~toshiw3/WWW/jisshu/jisshu1/report/2007/g1_kotu/g1_kotu.html

[3]2011年スマートキャンパス班「イラっとしない交通」講座～たてる そめる はる～

https://www.sk.tsukuba.ac.jp/~toshiw3/WWW/jisshu/jisshu1/report/2011/g2_smart/

[4]2019年スマートキャンパス班 BOHEMIAN RHAPSODY ～駐輪場を探すBOHEMIANたちに贈る～

https://www.sk.tsukuba.ac.jp/~toshiw3/WWW/jisshu/jisshu1/report/2019/g4_sc/

[5]橋本悟(2013): 自転車の短時間駐輪に関する一考察 - JR国立駅南口における社会実験をもとに対策を

考える -、運輸政策研究,16巻,2号,p.022-029,https://doi.org/10.24639/tpsr.TPSR_16R_09

[6]内田武史,細見昭,黒川洗(2002):違法駐輪に関する意識を考慮した自転車利用者の駐輪場所選択行動特性分析土木計画学研究・論文集,19巻,p.409-414,<https://doi.org/10.2208/journalip.19.409>

32

32